

絵本の読み聞かせをしたい方、している方のための講演会
読み聞かせの魅力や、具体的な選書方法・読み方まで、専門家から学ぶ講座です。

よみきかせ

— 聞いて楽しい、聞かせてうれしい



絵本との出会いは
子どもの未来を
豊かにします。

講師 杉山きく子さん (公益財団法人 東京子ども図書館理事)

日時 2026年10月31日(土) 14:00開始 (13:45開場) ※途中休憩をはさみます

会場 太田市学習文化センター第1研修室

参加費 無料 (定員有・要予約)

※託児サービスは
ございません。

お申し込み

要
予
約

右のフォームより
お申し込みください。



フォームがうまく起動しない方

katagurumabunko@gmail.comまで、
「10/31講演会希望の旨」を記載してメール送信してください。

講師紹介 — 杉山きく子(すぎやまきくこ)さん

司書として、東京都立図書館、国立国会図書館・国際子ども図書館等で38年間、主に児童サービスを担当。

現在、公益財団法人東京子ども図書館理事。風渡野(ふつどの)文庫主宰。著書に『がんばれ! 児童図書館員』『石井桃子の日本昔話』(東京子ども図書館)、共著に『よみきかせのきほん』(東京子ども図書館)『キラキラ読書クラブ改訂新版—子どもの本702冊ガイド』(玉川大学出版部)など。



東京子ども図書館

東京子ども図書館は子どもの本と読書を専門とする私立の図書館です。

1950年代から60年代にかけて都内4カ所ではじめられた石井桃子のかつら文庫、土屋滋子のふたつの土屋児童文庫、松岡享子の松の実文庫を母体として1974年に設立、2010年に内閣総理大臣より認定され、公益財団法人になりました。

子どもたちへの直接サービスのほかに、“子どもと本の世界で働くおとな”のために、資料室の運営、出版、講演・講座の開催、人材育成など、さまざまな活動を行っています。

太田市の家庭文庫「かたぐるまぶんこ」とは?



「かたぐるまぶんこ」を始めたころ、「ぶんこって何ですか?」と、よく聞かれました。

家庭文庫は、子ども達が絵本や物語を楽しみ、おとなも子どもも、その楽しさを共有できる場所。そして、子どもの心に寄り添って、本選びのお手伝いをするところ。

ロングセラーの絵本や昔話、物語本は子ども達に未知の喜びを運んでくれています。

「クマのプーさん」を読んでもらった3歳の女の子が「わたし、プーだけはゆずれないわ!」と言ってくれたこと。「アクリイのアーサー」に感情移入した5歳の男の子が「これ、シリーズもの? つづきはあるの?」と言ってくれたこと…。「子どもって、いいなあ」このような喜びに支えられて40年活動が続けてこられたことに感謝し、より質の高いものを本棚に揃えて、これからも「子どもたちが本と出会う場所」を豊かに育んでいきたいと思っています。

かたぐるまぶんこ主宰 小此木京子

会場へのアクセス

太田市学習文化センター

住所 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549番地2

駐車場 本講演会会場の受付にある認証機を通していただくと駐車料金が無料になります。

※駐車券を会場までお持ちください。

